

第2回「地域活性化交流・観光」及び「まちづくりハウジング」専門部会

日時：平成30年8月30日（木）9：30～

場所：区役所 4－7会議室

出席者：

- <有識者> 水内教授（大阪市立大学）、松村教授（阪南大学）
- <オブザーバー> ありむら事務局長（釜ヶ崎のまち再生フォーラム）
- <地域> 村井委員（区商連会長）、山田委員（簡宿組合理事長）、上田委員（ココルーム代表）
- <大阪市> 西成区 : 安井総合企画担当課長、川上地域支援担当課長
経済戦略局：梅原観光施策担当課長
都市計画局：樽野地域開発担当課長

議事要旨

リノベーションについて

- ・ まちの価値向上に資するリノベーションの促進として、住まいと福祉の支援に繋げるものと、地域情報の相談窓口に着けるものを対象とするのいいのではないか。
- ・ 西成区特有の課題として、地域外の人が公的補助を受けて公益的活動をしたいと思っても、商店街の空き店舗は多いが、交渉することが難しい。行政が公募で事業募集する等して、後押しできないか。
- ・ 地域情報を旅行者にも困窮者にも提供できるインフォメーションセンターを、官民協働で駅前に作れないか。
- ・ 自律的に運営できるように事業構築することが課題。

屋台村モデル実施の内容について

- ・ 飲食屋台がまちの価値向上に資するようになるには、マップづくりや看板などインフォメーション機能が必要。

新規モデル事業について

- ・ 官民連携のインフォメーションの拠点づくりがいいのではないか。